

平成24年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象:平成24年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
	再評価時点	きやまそうごうこうえん 基山総合公園整備事業 事業主体:基山町 事業地:基山町	近年の住宅開発により急激に増加した新住民と、旧住民との交流、健康の維持と体力の向上を図るとともに、地域住民のコミュニケーション形成の場として整備することを目的としている。	全体事業費:59.3億円 全体面積:12.6ha 期間:平成2年~平成16年 主要施設 ・多目的グラウンド、運動広場、体育館、修景施設、遊具施設、教養施設、武道館ほか	平成13年度末 ・供用面積:8.5ha ・進捗率:67.5% 主な共用施設 ・多目的グラウンド ・総合体育館 ・遊具施設 ・トイレ ・駐車場	基山町は、福岡市の主要都市圏に隣接し、平成元年に「けやき台団地」など大規模な住宅開発が進み人口の流入が急増した。 人口移動 13,982人(H2) 19,177人(H12) (10年間で5,195人の増加) 平成12年には、基山町に接する鳥栖市で「弥生が丘」の団地が街開きされたことで、今後ますますの利用が見込まれる。	事業採択時と比較して大きな要因の変化はみられない。	(コスト削減) 建設残土利用やリサイクル材の有効利用によるコスト削減を図ってる。	10年以上継続	継続
	H19年度再評価時点	上記と同じ	上記の目的を踏まえ、町内外の人々が既設の文化、体育の施設を複合利用し、コミュニケーション形成の場として整備することを目的としている。	全体事業費:61.4億円 全体面積:12.6ha 期間:平成2年~平成27年 主要施設 ・多目的グラウンド、運動広場、体育館、修景施設、遊具施設、教養施設、武道館ほか	平成13年度に総合体育館を新設、平成14年度に武道館を開館した。現在では、事業区域北西部(菖蒲坂ため池)周辺について用地の買戻しに着手している。 平成23年度末 ・供用面積:9.4ha ・進捗率:74.6% 主な共用施設 ・多目的グラウンド ・総合体育館 ・遊具施設・トイレ・駐車場	基山町の人口は平成12年度をピークに微減傾向で、平成18年度末現在での人口は18,348人を数える。 平成19年度は、鳥栖筑紫野道路が無料となり、年度後半には国道3号線が片側2車線で整備される予定である。 人口は減っているが、反面、町内の交通の便はさらに良くなり、諸行事での来町者は増加すると考えられる。	本公園へのアクセスは向上し、多目的グラウンドをはじめ、総合体育館、武道館では記念大会や行事などが頻繁に開催され、利用者は多い。	(コスト削減) 建設残土利用やリサイクル材の有効利用によるコスト削減を図る。 園路の防護柵や四阿に間伐材の積極的に利用する。 町民との協働とし、提案を施設整備に反映させたい。	再評価後5年経過	継続
	現時点 H24年度	上記と同じ	上記の目的を踏まえ、町内外の人々が既設の文化、体育の施設を複合利用し、コミュニケーション形成の場として整備することを目的としている。	平成21年度変更事業認可 全体事業費:55.21億円 全体面積:12.6ha 期間:平成2年~平成27年度末 主要施設 ・多目的グラウンド、運動広場、体育館、修景施設、遊具施設、教養施設、武道館ほか	平成13年度に総合体育館を新設、平成14年度に武道館を開館した。現在では、事業区域北西部(菖蒲坂ため池)周辺について、用地買収が完了し、施設整備に着手している。 平成23年度末 ・供用面積:9.4ha 供用率(供用/計画)74.6% ・事業進捗率(実績事業費/総事業費)97.4% 主な共用施設 ・多目的グラウンド ・総合体育館 ・遊具施設・トイレ・駐車場	基山町の人口は平成12年度をピークに微減傾向で、平成23年度末現在での人口は17,713人を数える。 平成19年度には、鳥栖筑紫野道路が無料となり、また、国道3号線が片側2車線で整備された。 人口は減っているが、反面、町内の交通の便はさらに良くなり、諸行事での来町者は今後も増加すると考えられる。 中央部にプールを計画していたが、工事費用や将来にわたっての維持管理等に多大な費用を要することや近年の社会情勢の変化、財政状況の悪化により、計画を断念せざるをえなくなった。このプール建設用地は多目的グラウンド、身障者併用トイレに同じ高さで隣接しており、遊具広場、休憩施設とも段差無く移動できるので今まで実現できなかったバリアフリー駐車場として整備することとした。	本公園へのアクセスは向上し、多目的グラウンドをはじめ、総合体育館、武道館では記念大会や行事などが頻繁に開催され、利用者は多い。 (費用対効果) B/C=1.04	(コスト削減) 建設残土利用やリサイクル材の有効利用によるコスト削減を図る。 園路の防護柵や四阿に間伐材の積極的に利用する。 町民との協働とし、提案を施設整備に反映させたい。 プール建設を変更し、遊具広場等と段差なく移動できるバリアフリー駐車場として整備することとした。	再評価後5年経過	継続
	理由等			全体事業費について事業見直しを行った際に、プール建設を変更し、遊具広場等と段差なく移動できるバリアフリー駐車場として整備することとしたために減少した。						